

# 保全センター青年部発表 自社の歴史



代表取締役社長 山本 剛

2017/2/4

# 会社概要

- 千葉県稲毛区に本店を置き、県内4箇所**に事業所を有する**
- 昭和11年創業(80年)
- **従業員93名 内パートタイマー3名** ほぼ全員が正社員雇用
- 事業部制を採用し、5部門で業務を遂行
- **顧客のニーズに対応すべく**、多くの特殊機材をラインナップし、出来ないを可能にする

# 業務内容

飲料水から下水処理まで、水を通じて、環境保全に貢献する業務をおこなっています。

- 各種廃棄物収集運搬業
- 下水処理施設、汚水処理施設維持管理業
- ビル管理法に関わる飲料水設備の清掃管理
- 道路、下水管路施設維持管理業(公共事業)

時代と環境の変化に対応し、業態を変化させ創業80年を迎えることができました。

# 自社理念、ビジョン

## ■わが社のモットー

**ゆたかな環境づくり………！**

## ■経営理念

1. 社員に対しては………**最善の職場**
2. お客様に対しては………**最高の技術**
3. 社会に対しては………**最良の会社**

# 沿革

## ■創生期① 1936～1963

- 1936年4月(昭和11年)  
千葉市議会議員 山本政次により創業  
2. 26事件
- 1939年5月(昭和14年)  
13名の同業者と「千葉市清掃業組合」を結成。  
初代理事長に就任  
第二次世界大戦勃発
- 1950年5月(昭和25年)  
山本政次が千葉市議会議員に選出され、

沿革

## ■創生期②1936～1963

- ・1954年4月(昭和29年)  
「汚物掃除法」より「清掃法」に法改正。汚物取扱業が新たに千葉市の許可制となり指定第1号を受ける

ビキニ諸島で水爆実験、第5福竜丸が被爆

- ・1963年5月(昭和38年)  
川崎製鉄千葉製鉄所土建部と業務請負契約締結

組織変更 有限会社千葉衛生社設立  
ケネディ大使暗殺

沿革

## ■廃掃法成立①1971～1979

- 1971年4月(昭和46年)  
「掃除法」から「廃棄物の処理と清掃に関する法律」施行  
東京都福生市に山本剛誕生
- 1972年4月(昭和47年)  
法改正により千葉市浄化槽清掃業許可を受ける  
国鉄千葉鉄道管理局と業務契約締結  
冬季五輪「札幌オリンピック」開催

沿革

## ■廃掃法成立②1971～1979

- 1973年4月(昭和48年)  
千葉市と「下水管内機械清掃業務委託」締結  
オイルショックの影響
- 1975年10月(昭和50年)  
し尿浄化槽維持管理業 千葉県知事登録22号  
広島カープ セリーグ初優勝



沿革

## ■廃掃法成立③1971～1979

- 1977年3月(昭和52年)  
厚生大臣より貯水槽清掃業許可を受ける  
王貞治 756号ホームランで世界一へ
- 1979年1月(昭和54年)  
初代オフコン導入(内田ユニコム製)  
「ドラえもん」テレビ放送開始

沿革

## ■昭和から平成へ①1980～

- 1981年4月(昭和56年)  
現在の社屋落成
- 1988年5月(昭和63年)  
建設業許可取得
- 1990年5月(平成2年)  
組織・社名変更「株式会社センエー」の誕生
- 1993年4月(平成5年)  
「株式会社アクアプラント」設立

沿革

## ■昭和から平成へ②1980～

- 1996年10月(平成8年)  
下水管路施設業務「TVカメラ調査」  
「更生工事」本格参入
- 2000年1月(平成12年)  
ホームページ開設  
社内ネットワークシステム構築
- 2004年2月(平成16年)  
一般貨物自動車運送事業許可取得

将来に向けて…

## 中期ビジョン

### ■ 定性ビジョン

・どんな業務にもエキスパートが存在し、顧客のニーズに答えを出す“プロ集団”を目指す

### ■ 定量ビジョン (2020年目標)

- ・売上15億円(現状の20%UP)
- ・営業利益8,000万円

# 今後の戦略方針

## ■達成目標

**「売上利益の明確な目標設定」**

**達成により自分自身が幸せになれることを実感するしくみ**

## ■重要成功要因(重要戦略課題)

- ・大切なお客様に多くの業務を知ってもらい、付加価値サービスを提供する**
- ・顧客情報を作成整理し、共有・活用をはかる**
- ・情報の共有と業務の「見える化」をはかる**

# 短期課題と展開

・常に問題意識を持ち、PDCAサイクルを展開し、ビジョン達成に向けた活動を継続的に実行します！

平成 28 年度経営計画書



再絵作者：山本肇臣

ゆたかな環境づくり.....!



株式会社 センエー

54 平成 28 年度経営計画

目 次

- 1. 経営計画書作成にあたり.....2
- 2. モットー 経営理念 ロゴマーク.....3
- 3. 平成 28 年度 活動目標と解説.....4
- 4. 基本方針.....5
- 5. 活動目標の実現に向けた行動指針.....6
- 6. 経営戦略.....9
- 7. 社長の決意.....12
- 8. 従業員の心算.....13
- 9. 従業員採用指針.....17
- 10. センエーグループ「永年勤続表彰」について.....18
- 11. 組織図・組織担当者.....19
- 12. 平成 27 年度 売上・利益実績.....21
- 12. 平成 28 年度 売上・利益計画.....22
- 13. 部門別計画
  - ①水処理事業部（保守管理・市販支店）.....23
  - ②水処理事業部（清掃）.....27
  - ③設備工事業部.....28
  - ④都市事業部（官庁）.....31
  - ⑤都市事業部（民間）.....36
  - ⑥中央支店・JFE 事業部.....42
  - ⑦管理部門.....44
  - ⑧アクアプラント.....48
- 14. 設備計画 業計表.....51
- 15. 平成 27 年 センエー10 大ニュース.....52
- 16. 平成 27 年度 事故報告.....53
- 17. 年報カレンダー.....54
- 18. 中期牽せプロジェクト.....巻末


経営計画書

平成 28 年 活動目標と解説

目標に果敢にチャレンジし、一歩前に進もう

目標なき者はどこに進めばよいのか分からない。個人と組織の取組むべき目標を明確にし、それに向かって進んでいこう。

1. 為せば成る、為さねば成らぬ
  - ・ 最初からあきらめてしまえば、それは賽走である
  - 「やったことがないから」「そんなことは出来ない」、自分の尺度でしか判断できず、新しい仕事の取組みや仕組みを受け入れずに現状維持を望むのであれば、先に進むことが出来ず、それは賽走を意味する。自分の殻を破らねば未来は開けない。「やるんだ！」という意思をもって、新たなものにチャレンジしよう！また、一度決めたことは「継続」せねば意味はない。PDCAサイクルを回して常に改善の意識をもとう！
2. 報・連・相の徹底でチームの問題を解決する
  - ・ 今おきている問題を全員で考え、対処しよう
  - 仕事は決して一人では出来ない。チームで仕事をしていくうえで報・連・相はコミュニケーションの基本。一人で解決できない問題もチームワークを発揮し、みんなで解決策を探そう。その要となるのは、部長である。部長が部下を掌握出来ずに指導力は発揮できない！
3. 安全第一は全てに優先する
  - ・ 安全の継続こそが我々の追い求める究極の目標
  - 一人の社員の一時の油断が、全員で永年継続してきた安全の積み重ねの努力を水泡に帰してしまう。継続を可能にするのは全員の肩に掛かっている事を自覚しよう



株式会社 センエー

年次活動目標